

公益財団法人 佐倉国際交流基金

平成 25 年度 第 1 回定例理事（役員）会  
議事録

平成 25 年 5 月 13 日（月）

## 平成 25 年度 公益財団法人佐倉国際交流基金 第 1 回定例理事（役員）会 議事録

### ◎ 会議の日時及び場所

平成 25 年 5 月 13 日（月） 午後 2 時から午後 4 時  
レインボープラザ佐倉（ワークプラザ 2 階会議室）

### ◎ 理事の現在数 10 名

監事の現在数 2 名

### ◎ 会議に出席した理事の氏名

出席理事（7 名） 宍倉昌男・熊谷隆夫・石塚孝男・伊藤三郎・鈴木博・山田滋・  
堀川義勝

出席監事（1 名） 熊崎久雄

欠席理事（3 名） 住田和海・三宅捷彦・平川南

欠席監事（1 名） 石渡 孝

### ◎その他出席者

佐倉市役所企画政策部広報課	課 長	鈴木千春
佐倉市役所企画政策部広報課	平和・国際担当	堀越一禎
公益財団法人佐倉国際交流基金	事務局長	坂田藤男
公益財団法人佐倉国際交流基金	事務局員	加藤利江
公益財団法人佐倉国際交流基金	事務局員	米澤尚子

### 1. 開 会

坂田事務局長より平成 25 年度第 1 回定例理事（役員）会の開会が宣言された。

### 2. 理事長あいさつ

本日は年度当初のお忙しい中、お集まり頂きまして誠に有り難うございます。  
今年 25 周年目を迎え、公益財団後 3 年目を迎えました。皆様のご任期も満期を迎えますが、6 月以降も再任をお願いし、市民のため、国際交流のためにも皆様のご協力をいただき頑張っていきたいと思っております。すでに今年度に入り日本語講座及び佐倉市国際文化大学はスタートし、各担当者にはご尽力いただいております。本日は皆様方にご審議をよろしく申し上げます。簡単ではありますが、ご挨拶にかえさせて頂きま

#### ・議長選出

事務局長より定款の定めにより、議長は理事長がこれにあたる旨通告された。

### 3. 会議成立報告

議長より本日の出席者は理事 7 名、監事 1 名、欠席 4 名で過半数の出席により本会議

の成立が報告された。

#### 4. 議事録署名人の選出

議長より議事録署名人は定款の定めにより理事長・監事がこれにあたる旨通告された。

#### 5. 議 題

- ・第1号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成24年度事業実績報告について
- ・第2号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成24年度決算報告について
- ・第3号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成25年度助成金交付について
- ・第4号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成25年度評議員会開催について

(報告事項)

公益財団法人佐倉国際交流基金 定款の変更について

#### ・議案の上程

議長 第1号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成24年度事業実績報告と第2号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成24年度決算報告は関連があるので、一括して上程する。

事務局長より説明を願う。

事務局長より第1号議案・第2号議案の説明

### 第1号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成24年度事業実績報告について

#### I 事業の実施状況

##### 1. 国際相互理解推進事業〔公益目的事業 1〕

###### 1) 公開講演会（佐倉市と共催）

佐倉市国際文化大学の公開講座として年2回佐倉市と共催でおこなった。5月には水野和夫先生「世界経済の行方」と12月に堀田力先生「日本の福祉の発展と生き方の変容」にご講演いただいた。各回ほぼ300名近い来場があった。

###### 2) 佐倉市国際文化大学

24年度は106名の受講者を迎え、毎回7割の出席率を維持し、14名が皆勤賞を取得した。延べ2,034人が受講したことになる。

###### 3) 佐倉国際スピーチコンテスト（佐倉市と共催、教育委員会後援）

ミレニアムセンター佐倉に於いて9月30日に開催した。

小中学生による英語のスピーチ、外国人による日本語のスピーチを3名のボランティアさんのご協力を得、来賓3名、審査員3名を迎えておこなった。

参加者は小学生45名、中学生のレシテーションの部20組22名、スピーチの部9名、外国人5名であった。

参加者の熱意に盛り上がり、運営する側も楽しむことができた。

4) イングリッシュ・サロン

平成22年度までの「みんなの楽しい英語」を発展させた事業である。

年に4回、2つのサロンに分かれていただき、楽しい雰囲気の中でネイティブの外国人とコミュニケーションしていただけた。初年度であったが、参加者の中からは4回は少ないという声を頂いた。

5) 佐倉異文化交流の集い

志津コミュニティセンターで10月20日開催した。このイベントは佐倉市民と市内近郊在住の外国人がお互いの文化を体験し合うイベントで、例えばアンデス民俗舞踊・太極拳などを見て、実際に楽しみながら体験してもらった。一方では日本の書道・折り紙などの文化を外国人参加者に体験してもらうことで、相互理解のきっかけとなり、多文化共生社会づくりの一助となればということでおこなった。

2. 国際交流活動支援事業〔応募申請型〕〔公益目的事業 2〕

10団体に対し、合計464,215円の助成金を支給した。

例年リピーターが多い中で、昨年度は県立佐倉高校から申請があり、オランダのカレッジスクールの生徒が佐倉高校に来て交流を図った『日蘭交流』事業に53,215円支給した。大口は「佐倉日蘭協会」の20万円と「佐倉市日中友好協会」の8万円である。予算は60万円であったので、数としてはもう少し増やしたかった。

3. 外国人支援事業（佐倉市国際化推進事業受託）〔公益目的事業 3〕

1) 外国人のための日本語講座

年間延べ受講者数が1,970名、クラスが280クラスとなった。平均18名の講師がボランティアで参加したことになる。木曜日はベビーシッターが待機し、外国人の母親が安心して乳幼児を預け学習できる環境を用意している。延べ160名、毎回平均5名のベビーシッターが参加している。24年度は日曜クラスを設置したため、それに伴い受講者は2割ほど増えている。

2) 外国人のための生活相談

外国人の方にスペイン語・英語・中国語での生活相談に応じている。

23年度は137回であった。回数に比べ相談件数（79件）が少ないが、困っている外国人のために窓口は開けておかななくてはならないが、もう少し相談員が有効に活動できるようにいたい。

4. その他 附帯事業

1) 佐倉・国際ボランティア活動

教育委員会及び他団体などから依頼があった場合にボランティアを派遣している。24年度は12件であった。

2) 後援事業

これらの事業には佐倉国際交流基金の名前を貸すのみである。24年度は3件。

3) 国際交流活動等情報提供

年2回(7月・11月)基金LETTERSを発行し、事業の実施状況などの情報を発信した。

4) 今年1月にホームページを全面的に見直し、より使いやすくした。

5) 24年度は予算にほぼ達したが、減る傾向にあった。25年度からは個人会員は一口2,000円に値下げし、3月1日付けで新たに国立歴史民俗博物館のご協力をいただき、入館料を割引料金で入館できるようにした。

〈参考資料〉の説明

1. 賛助会員数

3月末現在の賛助会員数を記載した。個人会員174人で昨年より9名減った。25年度は現在時点で174名から40名ほど増えた。これは文大の受講生の方が多く入っていただいております。

2. ボランティアバンク登録者数

3月末現在の登録者数を表にして記載(資料参照)

延べ240名の通訳・翻訳の登録があるが、ボランティアの要請が少ないので、活躍していただく機会が少ない。

3. 役員・評議員に関する事項(資料参照)

(1) 役員・評議員名簿

(2) 役員会等

4. 平成24年度12月の国債買い替えの時の会計処理について

昨年12月20日に満期となった1億4千万円の国債を12月21日に10年ものから20年もの買い替えた。その時の会計処理を記載した。

5. 契約に関する事項(資料参照)

6. 寄附金、協賛金等(資料参照)

(1) 寄附金ご協力者

(2) 協賛金ご協力者

(3) その他協賛としてのご協力者

以上、平成24年度事業実績報告を終わる

**第2号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 平成24年度決算報告について**

平成24年度は23年度以上のサービスをより効率的にできた。

・収支計算書(正味財産増減計算書)について

I 一般正味財産増減の部

## 1. 経常増減の部

### (1) 経常収益の部

#### 基本財産運用収入

23年度の実績と24年度はあまり変わらないが、総額が減っているのは経過利息の分である。

#### 会費収入

522,000円で若干予算には届かなかった。今年度は一般個人会員を2,000円とし、昨年度の実績を超えるものと見込んでいる。

#### 事業収入

大きなものとして、文大の受講料が22,000円/1名で、106名分として2,332,000円の収入があった。佐倉市から受託事業収入として1,368,000円の収入があった。

### (2) 経常費用の部

#### ①事業費

24年度はサービスの量は増えているが、コストは1割ほど削減した。総事業費は5,796,000円である。助成金に関して、応募が若干減ったので464,215円となった。

#### ②管理費

管理費はだいたい例年通りである。

## Ⅲ 正味財産期末残高

財産の総額は24年3月末で300,151,830円となった。

## ・財産目録